



心理学部

春までに読んでおきたい！

大学生活に役立つ

オ ス ス メ 図 書

※書籍の価格は実際と異なる場合があります。
購入される場合は各自ご確認ください。

オススメ

01

心理学への スタディガイド

世界思想社 廣中 直行 著

本体価格1,800円

心理学はどんな学問なのか、心理学を勉強すると何がわかるのか、心理学はどのように職業にいかすことができるのかなど、心理学の学び方の入門書です。

オススメ

02

錯覚の科学

文春文庫 クリストファー・チャブリス他 著

本体価格880円

意外にも、私たちの感覚や知識はあいまいなものです。日常生活に潜む注意、記憶、自信、知識、原因、可能性にまつわる錯覚を通して、人間の認知特性の歪みがわかりやすく解説されています。

オススメ

03

事故と心理

—なぜ事故に好かれてしまうのか

中公新書 吉田 信彌 著

本体価格820円

交通事故はなぜ起こるのでしょうか。事故についての多様な実験研究を通して、ヒューマン・エラーのメカニズムや人間の行動傾向に迫り、安全策を提案しています。

オススメ

04

コンプレックス

岩波新書 河合 隼雄 著

本体価格900円

「コンプレックス」という言葉は日常よく使われていますが、十分に理解されていない面があります。コンプレックスのもつ意味や可能性について、豊富な事例から解説しています。

オススメ

05

「私」はいつ生まれるか

ちくま新書 板倉 昭二 著

本体価格680円

「わたし」という認識は、発達上いつごろ芽生えるのでしょうか。赤ちゃんや子どもを対象にした緻密な実験を駆使し、また他の動物との比較も交えながら自己意識の誕生に迫ります。